

## 電波時計とは

正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

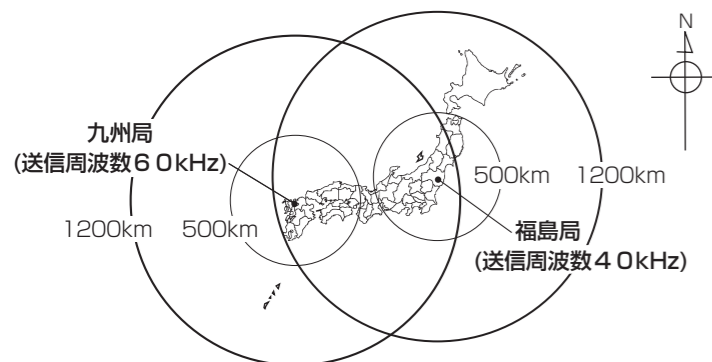
## 標準電波とは

日本標準時をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。  
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局:おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はがね山標準電波送信所」の2カ所あります。標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jijy.nict.go.jp)

## 受信可能な範囲

送信所からおおよそ約1200kmの範囲です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、設置場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



○この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

○日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信して、日本の時刻を表示したり、誤った時刻を表示することがありますので、電波受信機能を停止させてください。「■電波受信機能のON/OFF」参照。

○送信所の定期点検や落雷などにより、標準電波の送信が止まることがあります。

電波の受信しやすいところでご使用ください。

この時計は標準電波を受信することにより、時刻を修正しますので、電波の受信しやすい部屋の窓際などでお使いください。

## 電波を受信しにくい環境について

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。



ビルの地下など



高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く



金属製の雨戸やブラインドの近く



家電製品やOA機器の近く、又はスチール机等の金属製家具の上や近く



工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所。



朝夕の時間帯、雨天のとき

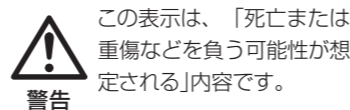
## ご使用場所の注意

下記のような場所では使わないでください。  
禁止 注意 機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

- 温度が+50℃(50度)以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃(氷点下10度)以下になる所。プラスチックの部品や電池の劣化が起きることがあります。
- 浴室など、湿気が多い所。
- ほこりが多く発生する所。空気中のちり等が機械部にたまって、時計が止まることがあります。
- テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。磁場の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。
- プラスチック製の時計の場合、軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

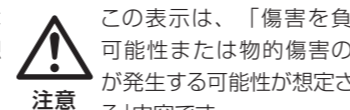
ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

表示内容を無視して、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。



警告

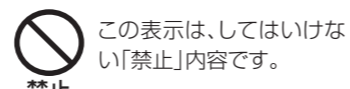
この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

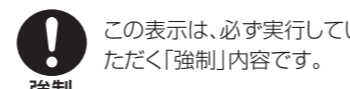
この表示は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。(表示の一例です。)



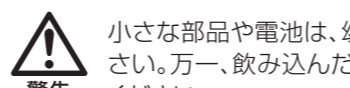
禁止

この表示は、してはけない「禁止」内容です。



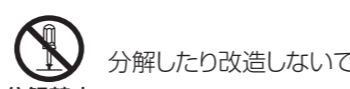
強制

この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



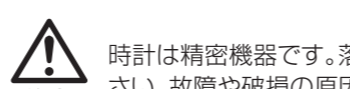
警告

小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。



分解禁止

分解したり改造しないでください。故障の原因になります。



注意

時計は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。

## アルカリ電池について

- 電池からもれた液が目に入った場合は、失明するおそれがありますのですぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。また、皮膚や衣服に付着した場合は、水で洗い流してください。
- ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。

## 電池一般について

電池の使い方を間違えると、発熱、破裂の危険や液もれにより人体や時計周りを傷めることがあります。

- +(プラス)、-(マイナス)を逆に入れてください。
- 指定された新しい電池を使用してください。
- 使い切った電池は速やかに取り出してください。
- 長期間使用しない場合は、電池を取り出してください。
- 電池交換時は、電池と時計の端子(接触部)の汚れを落としてから入れてください。

## お手入れについて

長くご愛用いただくために、2~3年に一度の点検・調整(有料)をおすすめします。販売店にご相談ください。

- 汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 時計をかけたときに、静電気により時計や壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

## ～ 製品の特長 ～

標準電波を受信して正しい時刻に修正

暗くなると秒針が自動停止

お買い上げありがとうございます。

○ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

○この取扱説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

アフターサービスなどについてご不明なことがありましたらお客様相談室にお問い合わせください。お問い合わせに際しては、時計裏面に表示してあります製品番号(型番)をお伝えください。例. 4MYA〇〇

## お問い合わせ先

■お客様相談室 フリーダイヤル ☎0120-557-005

受付時間 9:00 ~ 17:00  
(土日、祝日および当社休日を除く)

発売元 **リズム時計工業株式会社**

本社 ☎330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12  
http://www.rhythm.co.jp

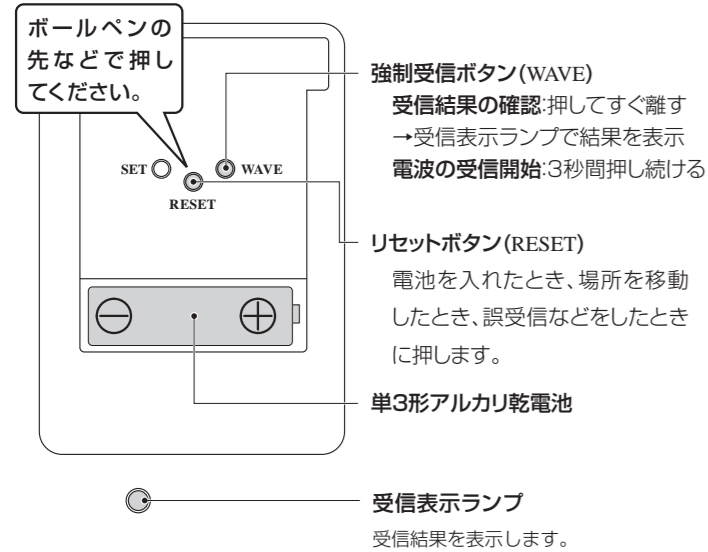
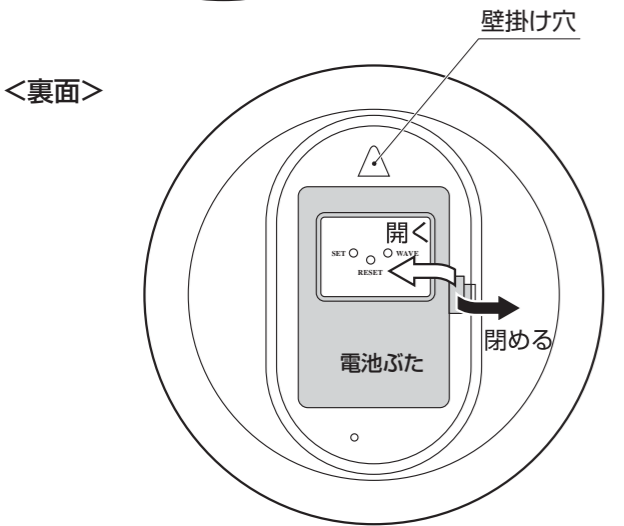
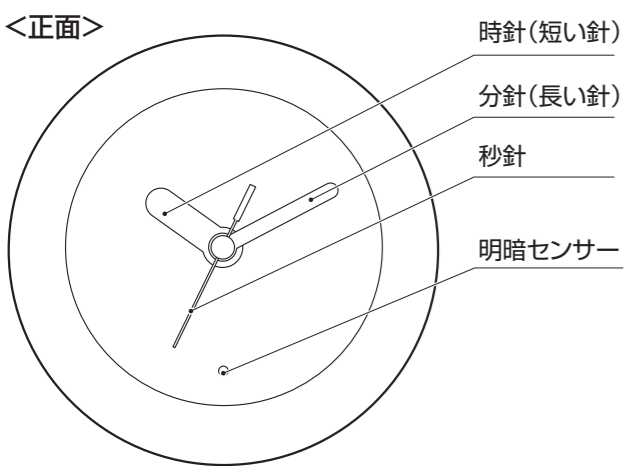
Y0710

■販売店の方へ		
この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。		
■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。		
1.	保証書のご提示がない場合。	
2.	保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。	
3.	お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。	
4.	お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障、または損傷。	
5.	天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。	
6.	お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。	
7.	ご使用中に生じる外観上の変化(ケース、ガラスなどの小キズ)	
※ 送料・出張料は、実費をいただきます。		
受付年月日	修理内容	確認印

GUARANTEE 保証書			
取扱説明書にそった正常なご使用状態で、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計お買い上げの販売店にご持参くだされば、無料修理・調整いたします。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。			
この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保存してください。			
※品名・型番			
※保証期間	お買い上げ	年 月 日より	1年間
お客様ご氏名	様		
ご住所	TEL ( ) -		
※販売店所在地			
※店名			
本保証書は再発行いたしませんので、大切に保存してください。			
●部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。●この保証書は国内のみ有効です。 This guarantee is valid only in Japan. ※印は販売店記入			

## 1. 電波を受信させて時刻を合わせます

●図は操作説明用ですので、実際の商品と異なる場合があります。



<操作部詳細>

手動で時刻を合わせる場合は、「2. 電波を受信できない場合」の「**手動時刻合わせ**」を参照してください。

●窓際など電波の受信しやすいところでお使いください。

### ①電池を入れる

電池ふたを取り外し、電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れて、電池ふたを取り付けます。

電池を逆に入れると、時計は動きません。

### ②リセットボタン(RESET)を押す

針が早送りで12時位置に移動して停止し、受信を開始します。  
※電池を入れた後は必ずリセットボタンを押してください。

### ③時計を掛ける

「3. 時計の掛け方」に従い、時計を確実に掛けてください。

### ④受信結果を確認する

最長15分程度受信を行います。受信が終わると針が早送りで時刻を示します。強制受信ボタン(WAVE)を押してすぐに離すと、受信表示ランプが受信結果をお知らせします。

3回点滅 :受信成功 (正しい時刻)

3秒間点灯 :受信失敗 (不正確な時刻)

→「2. 電波を受信できない場合」へ

消灯したまま:受信中

○受信に成功してもノイズにより誤った時刻を表示することがあります。このようなときは、場所を変えてリセットボタン(RESET)を押してください。

## ■電池の交換時期について

ご使用状態により、1年に満たないで電池の交換が必要になることがあります。時計の進み・遅れが大きいときや時計が止まったときは、指定の新しい電池に交換してください。

## ■電池からの液もれに注意

時計が止まった状態で、電池を入れたままにすると、電池からの液もれにより、時計や家具などに損傷を与えます。時計が止まったら、電池を取り出すか、電池を新しいものに交換してください。

## ■明暗センサー

時計周囲の明るさを感知するセンサーが付いています。暗くなると、秒針を12時位置に停止させ、明るくなると早送りで現在時刻の秒位置に移動します。このセンサーは、時計を設置した場所の明るさで動くため、昼間や夜間照明時でも設置場所の光量不足により、センサーが動くことがあります。

## 2. 電波を受信できない場合

●朝までそのままにしておく

一般に夜間は電波状態が良くなるので、一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える

電波の受信しやすい窓ぎわや、電波の送信所(取扱説明書の日本地図を参考)に、なるべく時計の正面または裏面が向くように設置し、リセットボタン(RESET)を押して受信を開始してください。

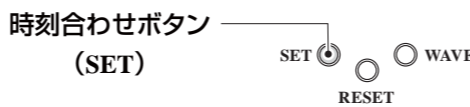
電波を受信できない場合や意図的に時刻を変えたい場合は、手動で時刻を合わせることができます。

## ■手動時刻合わせ

時刻合わせボタン(SET)を操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。標準電波を受信しないときの時間精度はクォーツ精度になります。

●手動で時刻を合わせても、電波の受信に成功すると時刻を修正します。→「電波受信機能のON/OFF」参照

時刻合わせボタン(SET)を約3秒間押し続けると時刻合わせモードになります。



○時刻合わせボタン(SET)を押して、すぐに離した場合は1分進みます。

○時刻合わせボタン(SET)を押し続けた場合は、早送りで動きます。

⑤ボタン操作をしていないのに針が早送りしているときは手動で時刻合わせができません。

○時刻合わせボタン(SET)を6秒間操作しないと時刻合わせモードを終了します。

秒針の動きについて

時刻合わせボタンが押されている間は停止します。

## ■電波受信機能のON/OFF

標準電波を利用する、しないを設定することができます。

強制受信ボタン(WAVE)と時刻合わせボタン(SET)を約3秒間押し続けます。秒針が早送り動き約5秒間、2時または10時を示します。

2時: 電波受信機能ON状態  
定期的に受信を試み、電波の受信に成功すると時刻を標準時刻に合わせます。

10時: 電波受信機能OFF状態  
標準電波を受信しません。

操作を繰り返すとONとOFFが切り替わります。  
※電波を受信しているときは切り替えできません。  
※リセットボタンを押すと受信機能はONとなり、受信を開始します。

## 3. 時計の掛け方

●時計の掛け方が不適切な場合、時計が落下する危険があります。

○時計を垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れる恐れがあります。

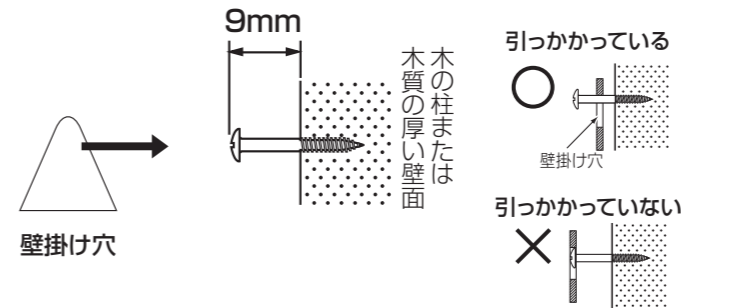
○時計を掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認してください。

○市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。

### 木の柱または木質の厚い壁面の場合

●付属の木ねじを使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。

●木ねじは下図の通り、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



### その他の壁面の場合

●上記以外の場所(石膏ボード、コンクリートなどの壁面)に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、両面テープ式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

## ■強制受信とリセット

強制受信→受信に失敗した場合に時刻を継続。場所を移動したときなどに使用します。

強制受信は、強制受信ボタン(WAVE)を約3秒間押し続けると、針が早送りになり12時位置に移動して受信を開始します。受信機能がOFFのときは機能しません。

リセット →時刻を12:00にセットし、標準電波の受信機能をONにして受信を開始します。

電池を交換したときや静電気の影響などにより誤作動したときに使います。

## アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品(電子回路、歯車等)は製造打ち切り後、7年を基準に保有しています。ただし、外装部品(ケース・文字板等)の修理には、類似の代替品を使用させていただくこともあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。(保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。)

## おもな製品仕様

自動受信について  
午前2時\*、3時\*、6時\*、10時台、午後2時、6時、10時台の7回行います。いずれも16分40秒に受信を開始します。  
\*印の時刻のときは秒針が12時位置に停止します。  
※針位置を修正するときに12時位置に移動することがあります。

時間精度	●標準電波の受信に成功している場合(補正直後) 秒針 ±1秒以内 時針/分針 目盛りに対して±3度 ●標準電波を受信できない場合 平均月差 ±30秒以内(常温中)
使用温度範囲	-10~+50℃
使用電池	単3形アルカリ乾電池(JIS規格LR6) 1個
電池寿命	約1年間
その他	標準電波 標準電波受信による時刻修正 福島局/九州局自動選択 自動電波受信回数 1日7回 標準電波受信ON/OFF切り替え 受信結果確認(ランプの点滅または点灯)

●付属の電池は、工場出荷時に入れていますので、電池寿命が製品仕様より短い場合があります。  
●製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品

単3形アルカリ乾電池 1個 取扱説明書 本書  
木ねじ 1個